2016年2月4日

卒業研究進捗報告

報告者：川口貴大

|  |  |
| --- | --- |
| 進捗報告 | 報告期間：1月14日～2月3日 |
| * 副査の先生方2名に概論をみてもらったところ、それぞれ質問をされた。   + 鵜川先生     - エディタ使用時は手動時と比べて機能が制限されているが、理由は？     - また、制限されている状態でも実用的か？   + 岩田先生     - Openflowとの連携はエディタ使用時も可能か？     - 構築規模を大きくしていった場合、どのような結果になるか予想を。 | |
| 今後の予定 | 計画期間：2月4日～2月13日 |
| 1. 発表用スライドの作成(～2月13日まで) 2. 卒業論文提出(～2月5日まで，～2月26日まで？) | |

解答

鵜川先生について

* 機能そのものは制限しておりません。が、規模は小さくしてあります。

理由は、研究室内で使用しているサーバーでOpenStackを稼働させていく中で、同時に稼働させることのできるリソース数が制限されているため、その制限に引っかからないように規模を制限しております。

岩田先生について

* 現段階ではOpenflowとの連携はエディタからは不可能です。しかし今後機能を拡張していく中で連携可能にすることも検討中です。
* 規模が大きくなっていった場合、被験者がテンプレートファイルの入力に慣れていくことも考えられますが、どうしても記述ミスの発生率は０％にならないと考えれるため、エディタ使用時の所要時間と従来方式の所要時間では差が広がっていくと考えられます。